

PIAZZOLLA



東京藝術大学

藝大プロジェクト
2021

第1部

基調講演(西村秀人)

トークセッション(西村秀人×福中冬子×松原勝也)

第2部

松原勝也(Vn)、福田進一(Gt)、山中惇史(Pf)

<演目>

ル・グラン・タンゴ

タンゴの歴史

タンティ・アンニ・プリマ

鮫

2021.7.24 Sat

15:00 開演(14:15 開場)

入場料 3,000 円(全席指定)

東京藝術大学演奏堂 [大学構内]

※就学前のお子様の同伴・入場はできませんので、ご了承ください。
※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、最新情報は東京藝術大学HPをご確認ください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出演者・スタッフの体調管理、入場者の制限、換気強化等の対策に取り組んでおります。ご来場のお客様にも体調管理、手指消毒、マスク着用等にご協力をお願いいたします。なお、「37.5℃以上の発熱、咳・呼吸困難、体調に不安のある方」、「マスクを着用されない方」、その他対策にご協力いただけない場合は、主催者の判断により入場をお断りいたします。最新情報は藝大ホームページでご確認ください。

■■■ チケット取り扱い(6/9(水) 発売開始) ※当日券の販売はございません ■■■

ヴォートル・チケットセンター TEL: 03-5355-1280 <http://ticket.votre.co.jp>
チケットぴあ TEL: 0570-02-9999 <https://t.pia.jp> 《Pコード: 197-222》
藝大アートプラザ TEL: 050-5525-2102 (店頭販売のみ)
東京文化会館チケットサービス TEL: 03-5685-0650 <https://www.t-bunka.jp/tickets/>
イープラス(e+) <https://eplus.jp>

■■■ お問い合わせ ■■■

東京藝術大学演奏藝術センター TEL: 050-5525-2300 東京藝術大学 HP <https://www.geidai.ac.jp>

| 主 催 | 東京藝術大学演奏藝術センター・東京藝術大学音楽学部

「ピアソラを語る、ピアソラを聴く」

ピアソラ百年の旅路 第1回

ピアソラ100年の旅路 第1回 「ピアソラを語る、 ピアソラを聴く」

今年の藝大プロジェクトは、タンゴの世界に革新をもたらした不世出のバンドネオン奏者、作曲家アストル・ピアソラ (1921~1992) を取り上げます。

全3回シリーズでその魅力を余すところなく味わっていただきますが、来たる第1回では「ピアソラを語る、ピアソラを聴く」と題し、文字通りトークと演奏の二部構成、研究者と演奏者の協働による東京藝術大学ならではのプログラムでお届けします。

タンゴファンもクラシックファンも、そしてピアソラファンもそうでない方も、存分にお楽しみいただきたいと思えます。奏楽堂では、新型コロナウイルスに万全の対策を講じて皆様をお待ちしています。

生誕百年、ピアソラ魅惑の世界へようこそ！

楠田 健太
(東京藝術大学演奏藝術センター准教授)

西村 秀人 Hideto Nishimura (レクチャー)

1967年東京生まれ。昨年度まで名古屋大学大学院准教授、現在同大学非常勤講師 (スペイン語)。大学院生時代からラテンアメリカ音楽のCDの選曲・解説・歌詞対訳などに携わる。NHKカルチャー名古屋教室で「タンゴの歴史」講座を10年に渡り担当。また PaPiTa MuSiCaとして南米関連音楽イベントの主催・サポート・通訳を担当。日本タンゴ・アカデミー理事、アルゼンチン国立タンゴ・アカデミー院外会員、日本マテ茶協会認定マテ茶アドバイザー。



福中 冬子 Fuyuko Fukunaka (レクチャー)

近現代音楽研究。ニューヨーク大学人文大学院博士課程修了。主要書・論文等：『オペラ学の地平』（共編：彩流社、2009年）、『ニュー・ミュージコロジー：音楽作品を「読む」批評理論』（編訳：慶應大学出版会、2013年）、『ポストモダンの音楽解釈』（東京藝大出版局、2021年）、“When ‘Japanese’ Music Became ‘Modern’ Music: the Internationale Ferienkurse für Musik Darmstadt as Intercultural Agency” (*German-East Asian Musical Entanglements: Transnational Transfer and Hybridity since 1900*, Palgrave MacMillan, 2021) など。現在東京藝術大学音楽学部教授。



松原 勝也 Katsuya Matsubara (ヴァイオリン)

東京藝術大学音楽学部在学中に安宅賞受賞。新日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターを歴任。無伴奏リサイタルシリーズ、ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏など幅広い活動を展開してきた。ナミ・レコードより自らの編曲によるJ.S.バッハ：「ゴールドベルグ変奏曲」「プレリュードとフーガ」弦楽五重奏版をリリース。第17回中島健蔵音楽賞、第55回文化庁芸術祭新人賞受賞。静岡AOIレジデンス・クワルテット、カルテット・アーニマメンバー、長崎OMURA室内合奏団アーティストック・アドバイザー、東京藝術大学音楽学部教授。



福田 進一 Shinichi Fukuda (ギター)

大阪生まれ。1981年パリ国際ギターコンクールでグランプリ優勝。以後約40年に亘り、ソロ・リサイタル、超一流ソリストや主要オーケストラとの共演を続け、その演奏は世界中のファンを魅了している。デビュー以来、ピアソラの紹介に努め、「タンゴの歴史」や独奏曲「5つの小品」「ギターとバンドネオンのための協奏曲」などを日本初演。また1998年以降、3度に亘り本場ブエノスアイレスやモンテビデオを訪れ演奏している。2019年11月公開の映画「マチネの終わりに」では、ギター監修を務めた。平成23年度芸術選奨「文部科学大臣賞」受賞。



山中 淳史 Atsushi Yamanaka (ピアノ)

東京藝術大学音楽学部作曲科・ピアノ科両科を卒業。同大学音楽研究科修士課程作曲専攻修了。第26回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位。ピアニストとしては2018年にリサイタルデビュー、また共演者として信頼も厚く国内外の著名なアーティストから指名を受け共演を重ね、参加した各CDはレコード芸術誌にて特選盤、準特選盤に選出されている。作曲を安良岡章夫、鈴木純明各氏、ピアノを江口玲氏に師事。東京藝術大学非常勤講師。Twitter→@ginyamagin Instagram→@yamanaka.atsushi



©Shigeto Imura

ピアソラ百年の旅路 第2回

「ピアソラ巡礼」～鈴木優人とともに～

学内限定

2021.10.15 Fri 19:00開演 (18:30開場)

東京藝術大学第6ホール

< 演目 > ブエノスアイレスの四季 他

ピアソラ百年の旅路 第3回

「Live in 藝大」

2021.10.24 Sun 15:00開演 (14:15開場)

入場料 3,000円 (全席指定)

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

キンテート (五重奏団)

吉田篤 (Vn)、北村聡 (Bn)、青木菜穂子 (Pf)

鈴木大介 (El-Gt)、田辺和弘 (Cb)

前半ゲスト: Cristian & Nao (Dance)

後半ゲスト: KaZZma (Vocal)

< 演目 >

～古典タンゴから～

蝶々、チケ、亜麻の花、タンゲラ 他

～ピアソラ作品から～

ブレパレンセ、スム、革命家

ロコへのバラード

アディオス・ノニーノ 他

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

交通のご案内

■ JR上野駅 (公園口)・鶯谷駅 (南口)、
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

■ 京成線京成上野駅、
東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分

※ 駐車場はございませんので、
お車でのご来場はご遠慮ください。

